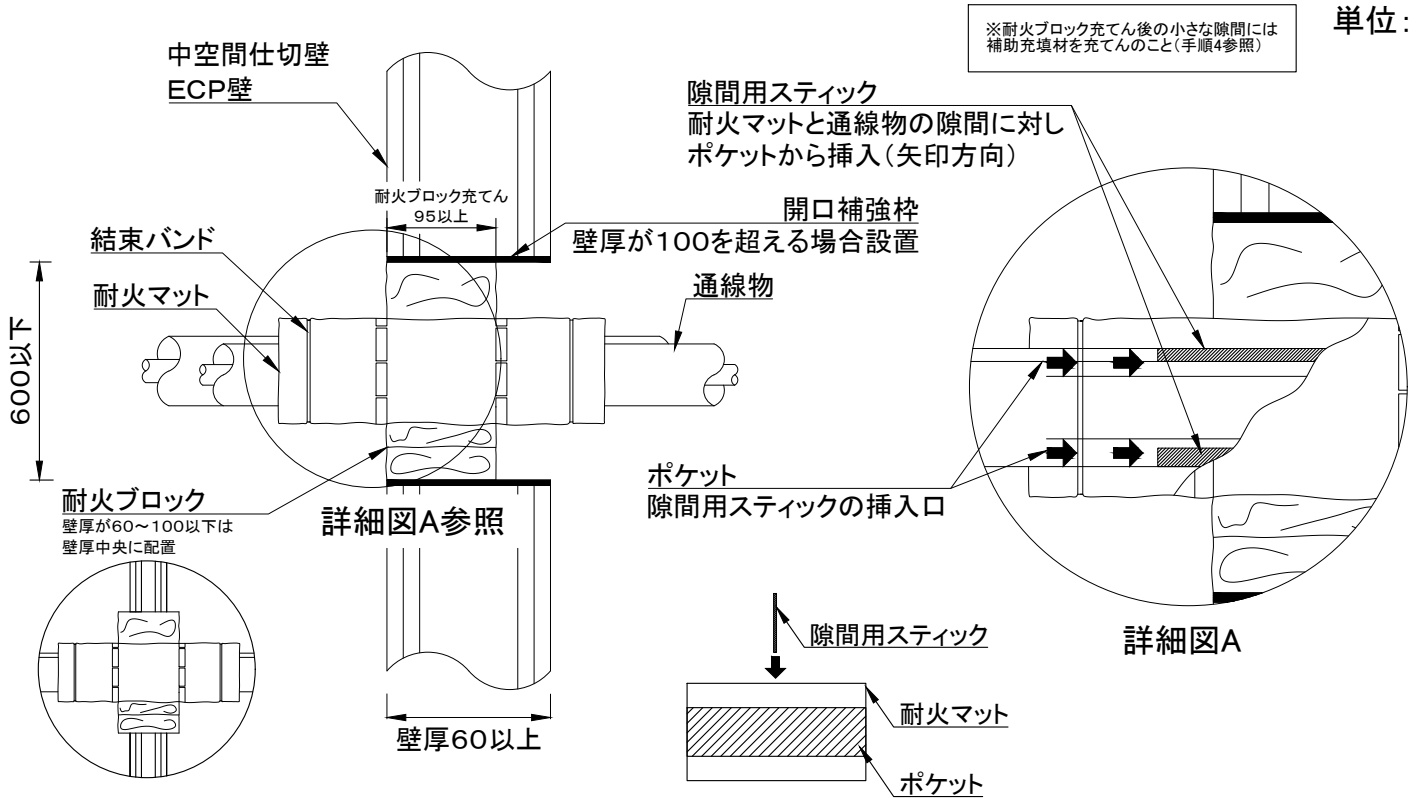


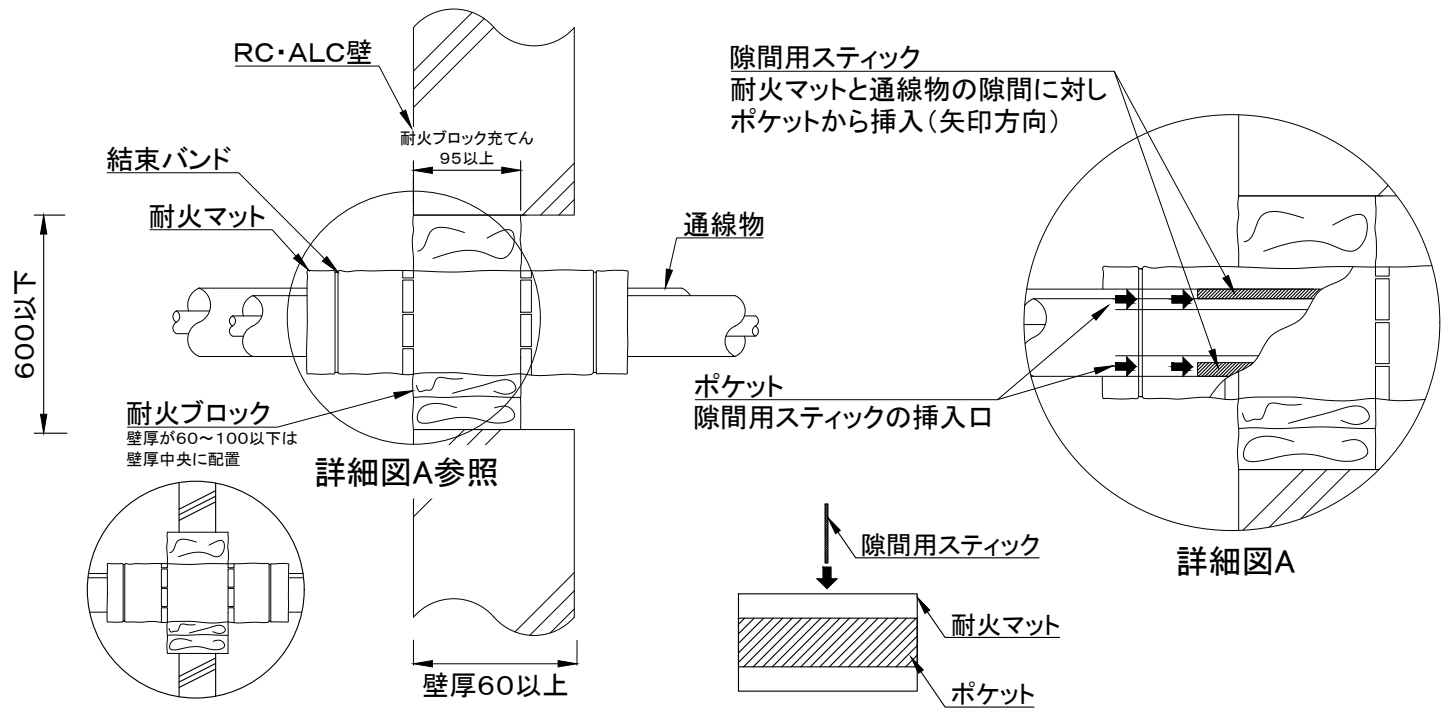
単位:mm



項目		仕様				
国土交通大臣認定番号		PSO60WL-1182-2(1182-1, 1182)				
貫通する壁の構造等		中空間仕切壁、ECP壁 厚さ60以上 ※中空間仕切壁は壁厚100mmを超える場合、開口補強枠設置				
開口部	形状(開口サイズ)	矩形(角穴) 高さ600以下				
	面積	0.75㎡以下				
占積率		35.0%以下				
防火部材	耐火ブロック	ロクマックスブロック				
	耐火マット、隙間用スティック	ロクマックスマット、ロクマックスマットスティック				
	耐火シート	ロクマックスシート				
貫通物	空調	冷媒管(銅管)	保温材(20以下)	耐火ブロック、補助充てん材のみ	耐火マット	
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	単管	複数管
		アルミ冷媒管(JIS H 4080)	保温材(20以下)	—	φ44.5以下	φ44.5以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ54以下	φ54以下
		鋼管	保温材なし	90A以下	—	—
			保温材(20以下)	—	32A以下	32A以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	40A以下	40A以下
				—	外径φ48.6以下	外径φ48.6以下
		ステンレス鋼管	保温材なし	90A以下	—	—
			保温材(20以下)	—	32A以下	32A以下
	発泡合成ゴム保温材(38以下)		—	φ50.8以下	φ50.8以下	
	VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—	
		保温材(6以下)	—	—	25A以下	
	電気	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)	保温材(20以下)	—	65A以下	—
			結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレンパイプなど)	—	50A以下	25A以下
断熱ドレンホース		—	—	—	呼び25以下	
		—	—	—	外径φ37以下	
ドレンホース	—	—	—	呼び16以下		
	—	—	—	外径φ22以下		
衛生	VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—	
	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 9798)(RFVP)	—	—	100A以下	—	
電気	合成樹脂製可とう電線管	1,600mm ² 以下	200mm ² を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付けケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け			
		PF・CD54以下	PF・CD22以下:貫通部に耐火ブロックのみ PF・CD54以下:貫通部に耐火ブロック+耐火シート1周以上巻き付け PF・CD54以下×複数管:貫通部に耐火マット巻き付け			
施工方法		1 壁厚が100を超える場合、開口補強枠を設置する。 2 貫通部に耐火マット又は耐火シートを巻き所定位置までスライドさせる。尚、耐火マットで貫通物を複数管巻付ける場合、谷間等の隙間には、必ず、隙間用スティックを設置すること。 3 貫通物、耐火マットあるいは耐火シートの形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 4 小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。				

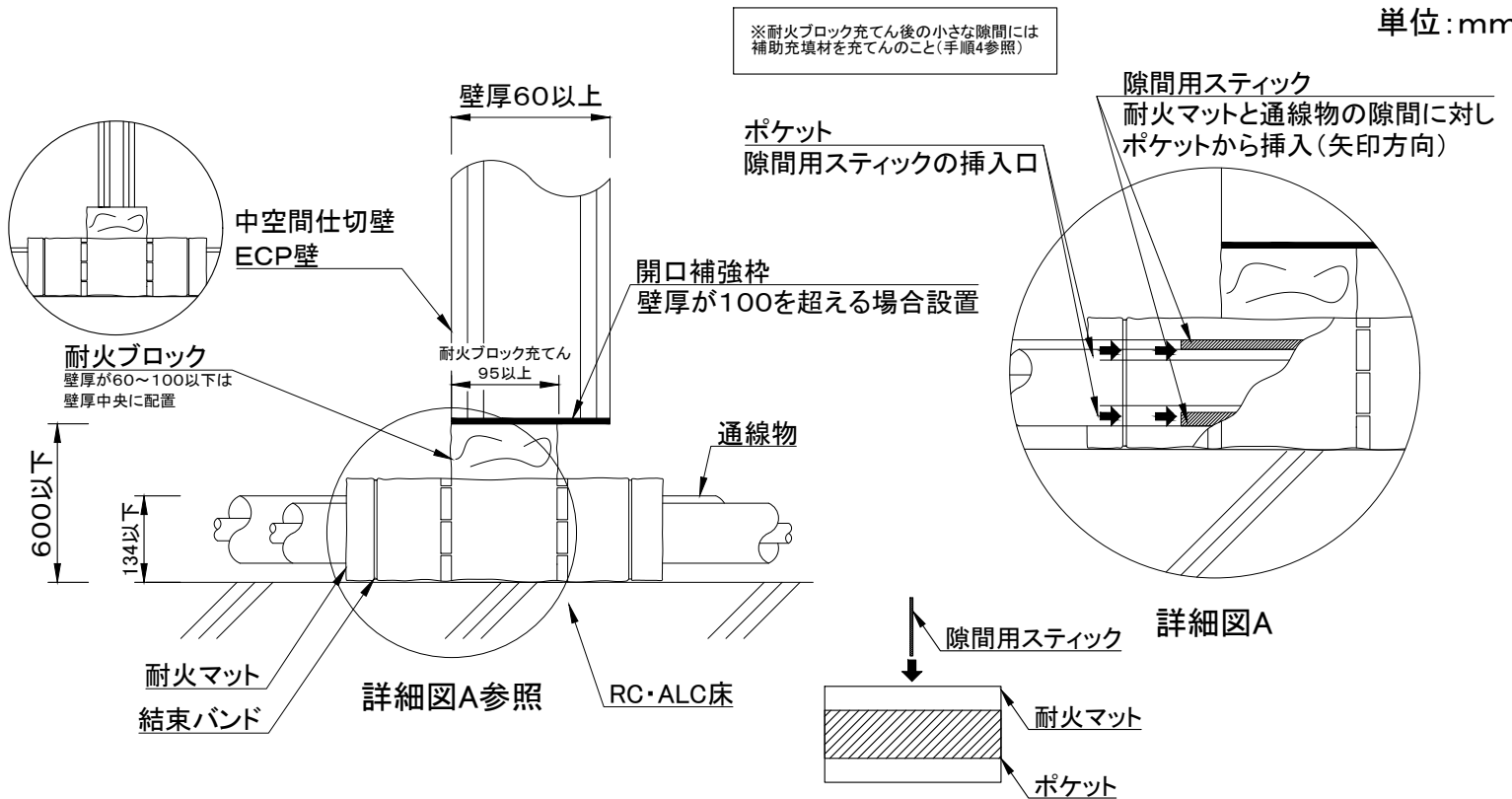
単位:mm

※耐火ブロック充てん後の小さな隙間には補助充填材を充てんすること(手順3参照)



項目		仕様				
国土交通大臣認定番号		PS060WL-1182-2(1182-1, 1182)				
貫通する壁の構造等		RC・ALC壁 厚さ60以上				
開口部	形状(開口サイズ)	矩形(角穴) 高さ600以下				
	面積	0.75㎡以下				
占積率		35.0%以下				
防火部材	耐火ブロック	ロクマックスブロック				
	耐火マット、隙間用スティック	ロクマックスマット、ロクマックスマットスティック				
	耐火シート	ロクマックスシート				
貫通物	空調	冷媒管(銅管)	保温材(20以下)	—	φ44.5以下	φ44.5以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ54以下	φ54以下
		アルミ冷媒管(JIS H 4080)	保温材(20以下)	—	φ38.1以下	φ38.1以下
			鋼管	保温材なし	90A以下	—
		ステンレス鋼管	保温材(20以下)	—	32A以下	32A以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	40A以下	40A以下
			保温材なし	90A以下	—	—
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ50.8以下	φ50.8以下
		VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—
			保温材(6以下)	—	—	25A以下
	保温材(20以下)		—	65A以下	—	
	結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレンパイプなど)	—	—	50A以下	25A以下	
	断熱ドレンホース	—	—	—	呼び25以下 外径φ37以下	
	ドレンホース	—	—	—	呼び16以下 外径φ22以下	
	衛生	VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 9798)(RFVP)		—	—	100A以下	—	
電気	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)		1,600mm ² 以下 200mm ² を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け			
	合成樹脂製可とう電線管		PF・CD54以下 PF・CD22以下:貫通部に耐火ブロックのみ PF・CD54以下:貫通部に耐火ブロック+耐火シート1周以上巻き付け PF・CD54以下×複数管:貫通部に耐火マット巻き付け			
施工方法			<ol style="list-style-type: none"> 貫通部に耐火マット又は耐火シートを巻き所定位置までスライドさせる。尚、耐火マットで貫通物を複数管巻付ける場合、谷間等の隙間には、必ず、隙間用スティックを設置すること。 貫通物、耐火マットあるいは耐火シートの形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。 			

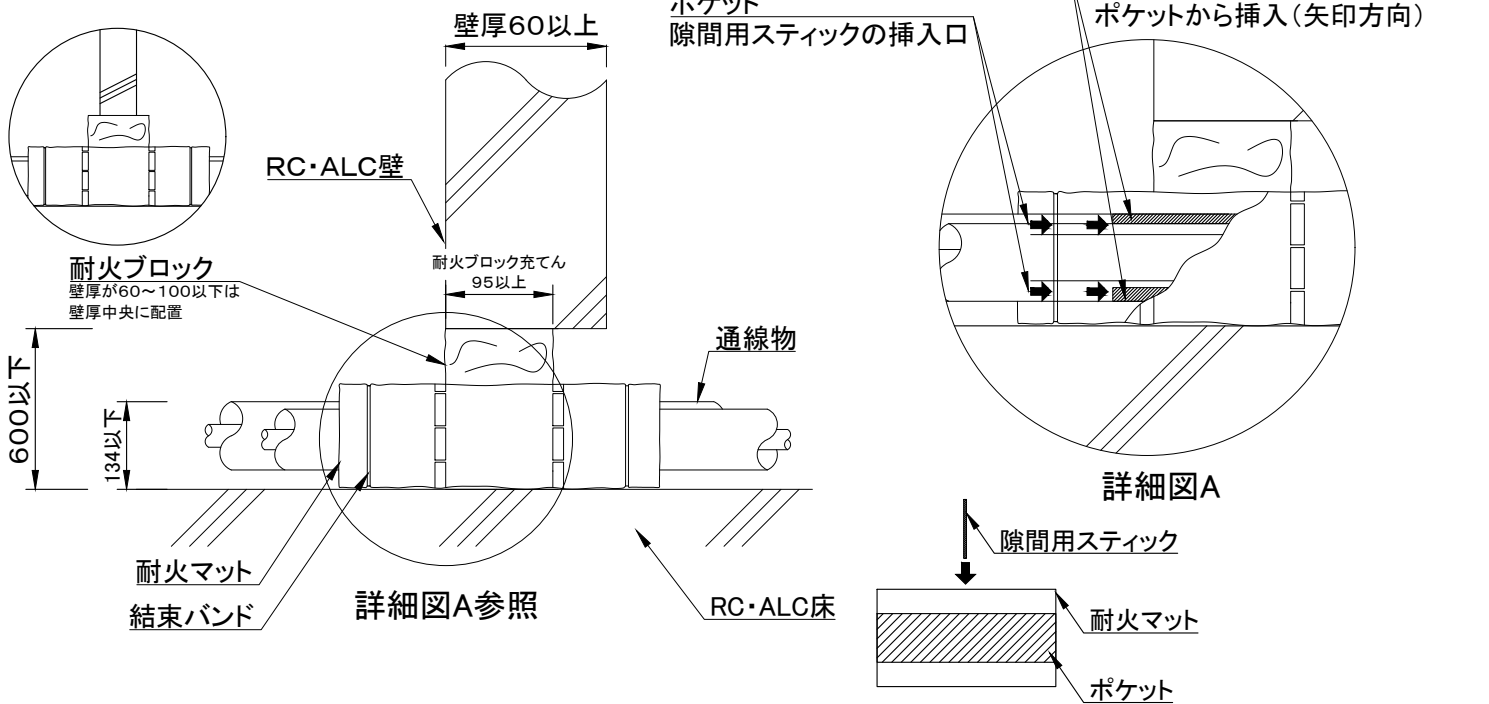
単位:mm



項目		仕様				
国土交通大臣認定番号		PS060WL-1182-2(1182-1, 1182)				
貫通する壁の構造等		中空間仕切壁、ECP壁 厚さ60以上 ※中空間仕切壁は壁厚100mmを超える場合、開口補強枠設置				
開口部	形状(開口サイズ)	矩形(角穴) 高さ600以下				
	面積	0.75㎡以下				
占積率		35.0%以下(通線物高さ134以下)				
防火部材	耐火ブロック	ロクマックスブロック				
	耐火マット、隙間用スティック	ロクマックスマット、ロクマックスマットスティック				
	耐火シート	ロクマックスシート				
貫通物	空調	冷媒管(銅管)	保温材(20以下)	耐火ブロック、補助充てん材のみ	耐火マット 単管	耐火マット 複数管
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ44.5以下	φ44.5以下
		アルミ冷媒管(JIS H 4080)	保温材(20以下)	—	φ54以下	φ54以下
			保温材なし	90A以下	—	—
		鋼管	保温材(20以下)	—	32A以下	32A以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	40A以下 外径φ48.6以下	40A以下 外径φ48.6以下
			保温材なし	90A以下	—	—
		ステンレス鋼管	保温材(20以下)	—	32A以下	32A以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ50.8以下	φ50.8以下
			保温材なし	—	100A以下	—
	VP・HIVP・HT管	保温材(6以下)	—	—	25A以下	
		保温材(20以下)	—	65A以下	—	
	結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレンパイプなど)	—	—	50A以下	25A以下	
	断熱ドレンホース	—	—	—	呼び25以下 外径φ37以下	
	ドレンホース	—	—	—	呼び16以下 外径φ22以下	
衛生	VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—	
	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 9798)(RFVP)	—	—	100A以下	—	
電気	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)		1,600mm ² 以下	200mm ² を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付けケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け		
	合成樹脂製可とう電線管		PF・CD54以下	PF・CD22以下:貫通部に耐火ブロックのみ PF・CD54以下:貫通部に耐火ブロック+耐火シート1周以上巻き付け PF・CD54以下×複数管:貫通部に耐火マット巻き付け		
施工方法			1 壁厚が100を超える場合、開口補強枠を設置する。 2 貫通物に耐火マット又は耐火シートを巻き所定位置までスライドさせる。尚、耐火マットで貫通物を複数管巻付ける場合、谷間等の隙間には、必ず、隙間用スティックを設置すること。 3 貫通物、耐火マットあるいは耐火シートの形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 4 小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。			

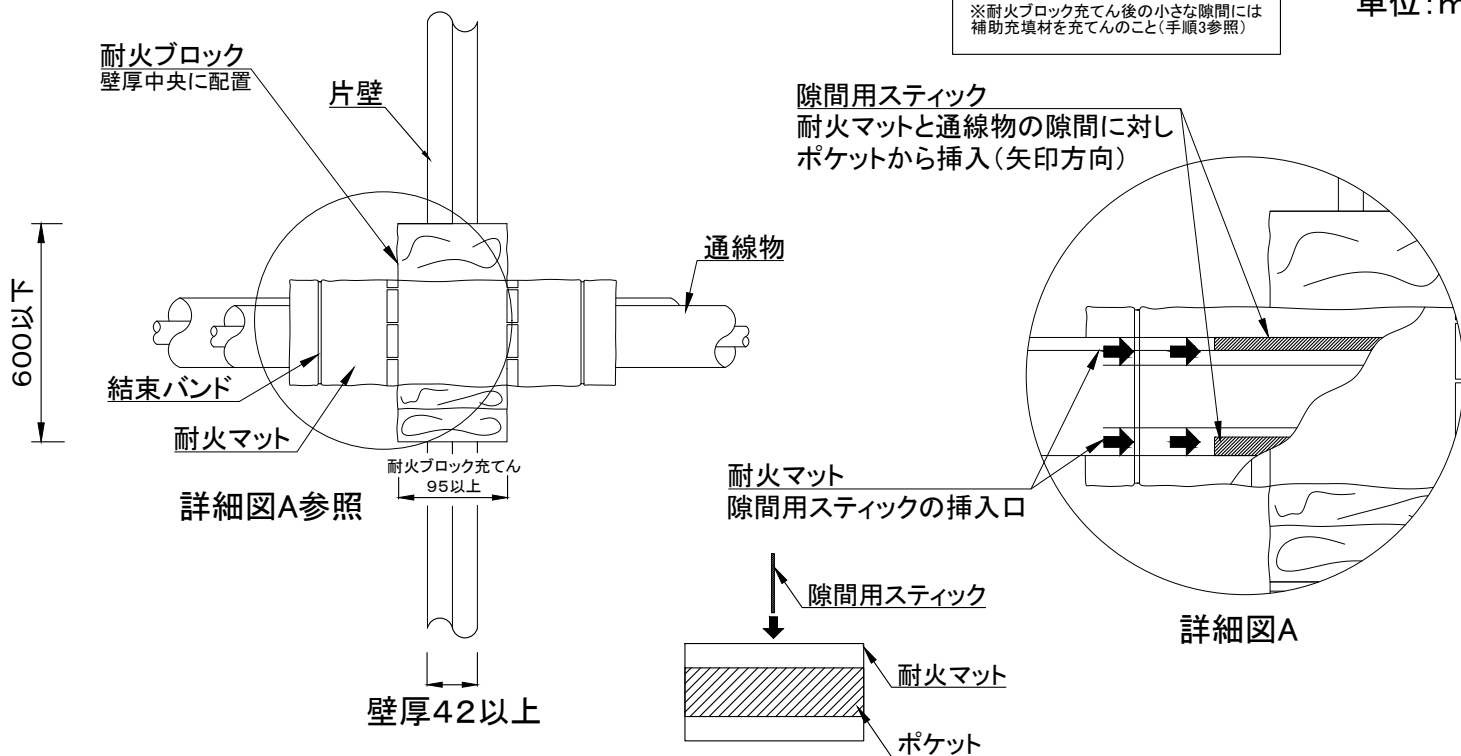
単位:mm

※耐火ブロック充てん後の小さな隙間には補助充填材を充てんすること(手順3参照)

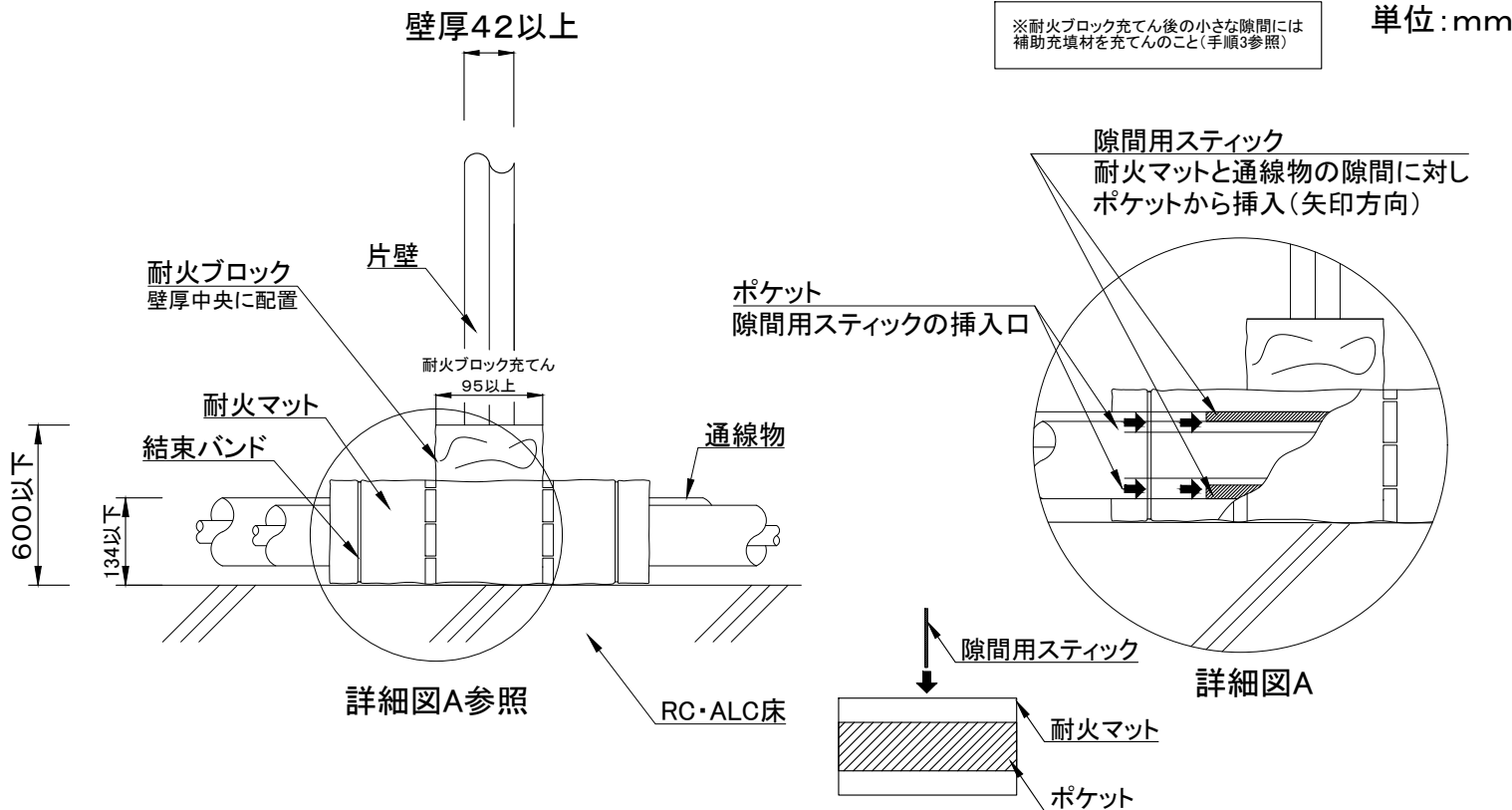


項目		仕様				
国土交通大臣認定番号		PS060WL-1182-2(1182-1, 1182)				
貫通する壁の構造等		RC・ALC壁 厚さ60以上				
開口部	形状(開口サイズ)	矩形(角穴) 高さ600以下				
	面積	0.75㎡以下				
占積率		35.0%以下(通線物高さ134以下)				
防火部材	耐火ブロック	ロクマックスブロック				
	耐火マット、隙間用スティック	ロクマックスマット、ロクマックスマットスティック				
	耐火シート	ロクマックスシート				
貫通物	空調	冷媒管(銅管)	保温材(20以下)	耐火ブロック、補助充てん材のみ	耐火マット	
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	単管	複数管
		アルミ冷媒管(JIS H 4080)	保温材(20以下)	—	φ44.5以下	φ44.5以下
			保温材なし	90A以下	—	—
		鋼管	保温材(20以下)	—	φ54以下	φ54以下
			保温材なし	90A以下	—	—
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ38.1以下	φ38.1以下
		ステンレス鋼管	保温材なし	90A以下	—	—
			保温材(20以下)	—	32A以下	32A以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	40A以下	40A以下
	VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	外径φ48.6以下	外径φ48.6以下	
		保温材(6以下)	—	—	—	
		保温材(20以下)	—	65A以下	—	
	結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレンパイプなど)	—	—	50A以下	25A以下	
	断熱ドレンホース	—	—	—	呼び25以下 外径φ37以下	
ドレンホース	—	—	—	呼び16以下 外径φ22以下		
衛生	VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—	
	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 9798)(RFVP)	—	—	100A以下	—	
電気	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)		1,600mm ² 以下	200mm ² を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付けケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け		
	合成樹脂製可とう電線管		PF・CD54以下	PF・CD22以下:貫通部に耐火ブロックのみ PF・CD54以下:貫通部に耐火ブロック+耐火シート1周以上巻き付け PF・CD54以下×複数管:貫通部に耐火マット巻き付け		
施工方法			1 貫通物に耐火マット又は耐火シートを巻き所定位置までスライドさせる。尚、耐火マットで貫通物を複数管巻付ける場合、谷間等の隙間には、必ず、隙間用スティックを設置すること。 2 貫通物、耐火マットあるいは耐火シートの形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 3 小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。			

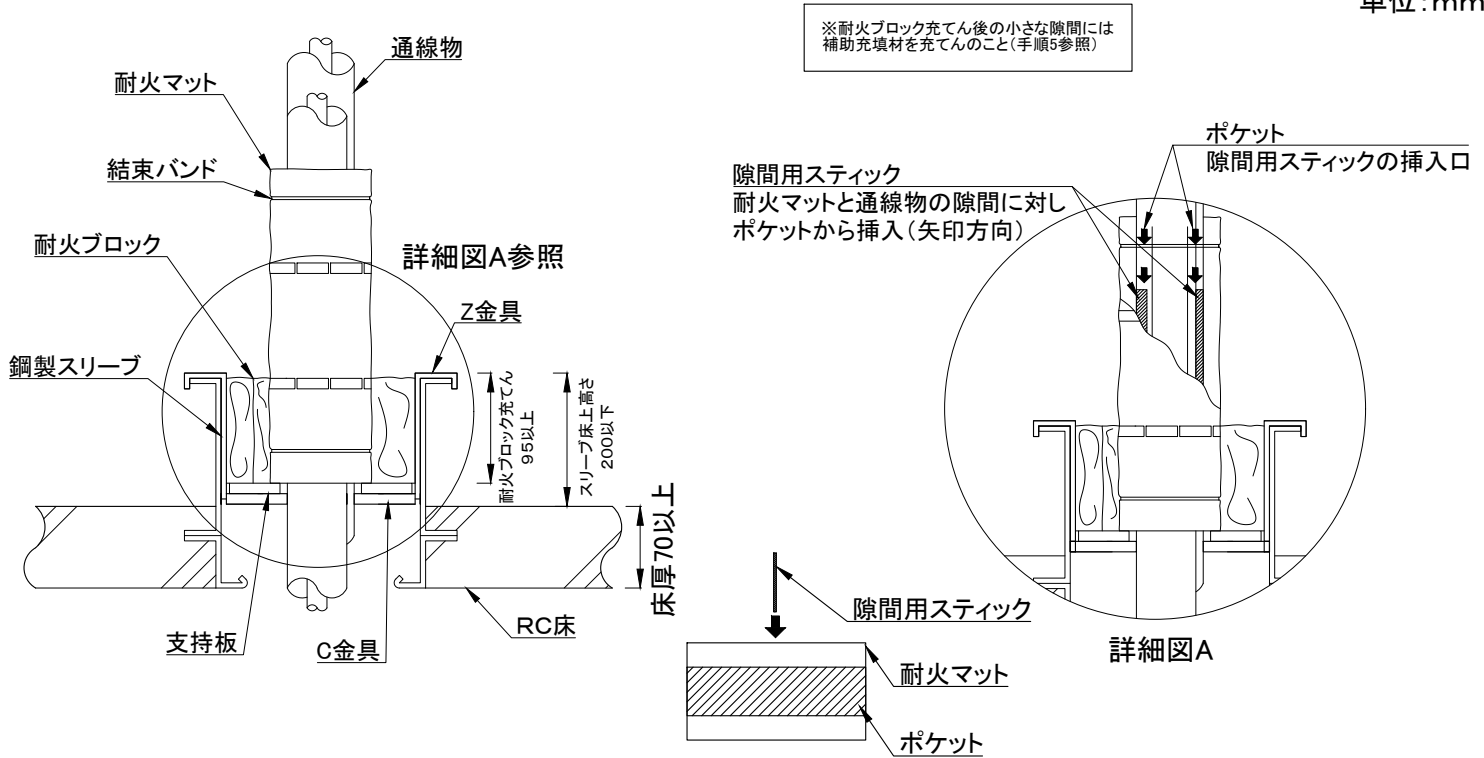
単位:mm



項目		仕様						
国土交通大臣認定番号		PS060WL-1212-2(1212-1, 1212)						
貫通する壁の構造等		片壁 42以上						
開口部	形状(開口サイズ)	矩形(角穴) 高さ600以下						
	面積	0.75㎡以下						
占積率		35.0%以下						
防火部材	耐火ブロック	ロクマックスブロック						
	耐火マット、隙間用スティック	ロクマックスマット、ロクマックスマットスティック						
	耐火シート	ロクマックスシート						
貫通物	空調	冷媒管(銅管)	保温材(20以下)	—	単管	φ44.5以下	複数管	φ44.5以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—		φ54以下	φ54以下	
		アルミ冷媒管(JIS H 4080)	保温材(20以下)	—		φ38.1以下	φ38.1以下	
			保温材なし	90A以下	—	—	—	
		鋼管	保温材(20以下)	—		32A以下	32A以下	
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—		40A以下	40A以下	
			保温材なし	90A以下	—	外径φ48.6以下	外径φ48.6以下	
		ステンレス鋼管	保温材(20以下)	—		32A以下	32A以下	
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—		φ50.8以下	φ50.8以下	
			保温材なし	—		100A以下	—	
		VP・HIVP・HT管	保温材(6以下)	—		—	25A以下	
			保温材(20以下)	—		65A以下	—	
		結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレンパイプなど)	—		50A以下	25A以下	—	
		断熱ドレンホース	—		—	呼び25以下	外径φ37以下	
ドレンホース	—		—	呼び16以下	外径φ22以下			
衛生	VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—			
	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 9798)(RFVP)	—		100A以下	—			
電気	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)		1,600mm ² 以下 200mm ² を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付けケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け					
	合成樹脂製可とう電線管		PF・CD54以下 PF・CD22以下:貫通部に耐火ブロックのみ PF・CD54以下:貫通部に耐火ブロック+耐火シート1周以上巻き付け PF・CD54以下×複数管:貫通部に耐火マット巻き付け					
施工方法			<ol style="list-style-type: none"> 貫通部に耐火マット又は耐火シートを巻き所定位置までスライドさせる。尚、耐火マットで貫通物を複数管巻付ける場合、谷間等の隙間には、必ず、隙間用スティックを設置すること。 貫通物、耐火マットあるいは耐火シートの形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。 					

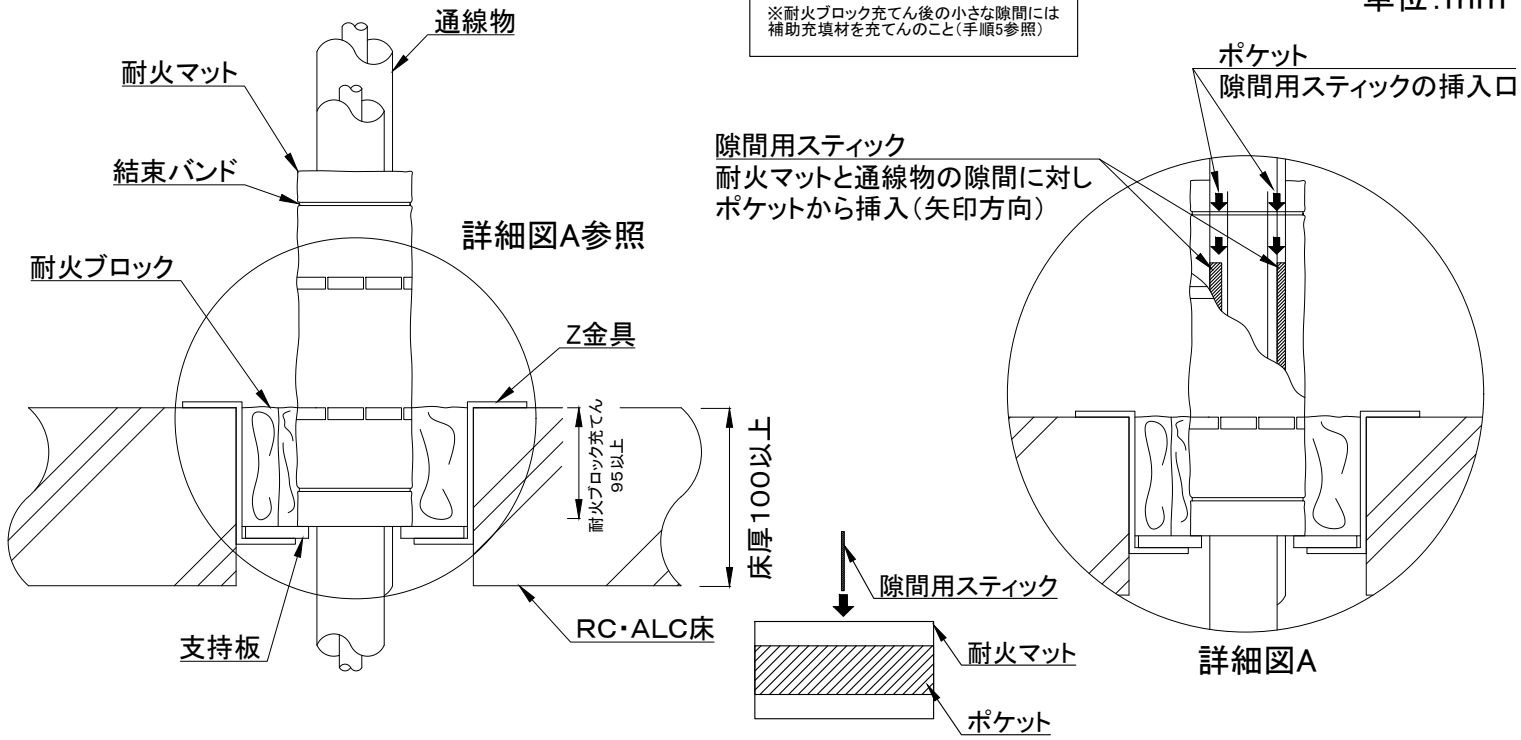


項目		仕様				
国土交通大臣認定番号		PS060WL-1212-2(1212-1, 1212)				
貫通する壁の構造等		片壁 42以上				
開口部	形状(開口サイズ)	矩形(角穴) 高さ600以下				
	面積	0.75㎡以下				
占積率		35.0%以下(通線物高さ134以下)				
防火部材	耐火ブロック	ロクマックスブロック				
	耐火マット、隙間用スティック	ロクマックスマット、ロクマックスマットスティック				
	耐火シート	ロクマックスシート				
貫通物	空調	冷媒管(銅管)	保温材(20以下)	—	単管 φ44.5以下	複数管 φ44.5以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ54以下	φ54以下
		アルミ冷媒管(JIS H 4080)	保温材(20以下)	—	φ38.1以下	φ38.1以下
			鋼管	保温材なし	90A以下	—
		ステンレス鋼管	保温材(20以下)	—	32A以下	32A以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	40A以下	40A以下
			保温材なし	90A以下	—	—
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	外径φ48.6以下	外径φ48.6以下
		VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—
			保温材(6以下)	—	—	25A以下
	保温材(20以下)		—	65A以下	—	
	結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレンパイプなど)	—	—	50A以下	25A以下	
	断熱ドレンホース	—	—	—	呼び25以下 外径φ37以下	
	ドレンホース	—	—	—	呼び16以下 外径φ22以下	
	衛生	VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 9798)(RFVP)		—	—	100A以下	—	
電気	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)		1,600mm ² 以下	200mm ² を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付けケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け		
	合成樹脂製可とう電線管		PF・CD54以下	PF・CD22以下:貫通部に耐火ブロックのみ PF・CD54以下:貫通部に耐火ブロック+耐火シート1周以上巻き付け PF・CD54以下×複数管:貫通部に耐火マット巻き付け		
施工方法			<ol style="list-style-type: none"> 貫通物に耐火マット又は耐火シートを巻き所定位置までスライドさせる。尚、耐火マットで貫通物を複数管巻付ける場合、谷間等の隙間には、必ず、隙間用スティックを設置すること。 貫通物、耐火マットあるいは耐火シートの形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。 			



項目		仕様				
国土交通大臣認定番号		PS060FL-1200-2(1200-1、1200)				
貫通する壁の構造等		RC床 厚さ70以上 ※鋼製スリーブ(厚さ1.6以上、床上海さ200以下)設置				
開口部	形状(開口サイズ)	矩形(角穴)				
	面積	0.75㎡以下				
占積率		35.0%以下				
防火部材	耐火ブロック	ロクマックスブロック				
	耐火マット、隙間用スティック	ロクマックスマット、ロクマックスマットスティック				
	耐火シート	ロクマックスシート				
	支持板	ロクマックスボード				
貫通物	空調	冷媒管(銅管)	保温材(20以下)	—	単管 φ44.5以下	複数管 φ44.5以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ54以下	φ54以下
		アルミ冷媒管(JIS H 4080)	保温材(20以下)	—	φ38.1以下	φ38.1以下
			保温材なし	90A以下	—	—
		鋼管	保温材(20以下)	—	32A以下	32A以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	40A以下 外径φ48.6以下	40A以下 外径φ48.6以下
			保温材なし	90A以下	—	—
		ステンレス鋼管	保温材(20以下)	—	32A以下	32A以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ50.8以下	φ50.8以下
			保温材なし	—	100A以下	—
	VP・HIVP・HT管	保温材(6以下)	—	—	25A以下	
		保温材(20以下)	—	65A以下	—	
		結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACDレンパイプなど)	—	50A以下	25A以下	
	断熱ドレンホース	—	—	—	呼び25以下 外径φ37以下	
		—	—	—	呼び16以下 外径φ22以下	
衛生	VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—	
	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 9798)(RFVP)	—	—	100A以下	—	
電気	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)	1,600mm ² 以下	200mm ² を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付けケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け			
		合成樹脂製可とう電線管	PF・CD54以下	PF・CD22以下:貫通部に耐火ブロックのみ PF・CD54以下:貫通部に耐火ブロック+耐火シート1周以上巻き付け PF・CD54以下×複数管:貫通部に耐火マット巻き付け		
施工方法		1 開口に鋼製スリーブを設置する。 2 鋼製スリーブに支持金具(Z金具、C金具)を設置し、貫通物の形状に合わせて加工した支持板を置く。(耐火ブロックを下面施工する場合は、鋼製スリーブ下面に支持金具を設置し、支持板を置く。) 3 貫通物に耐火マット又は耐火シートを巻き所定位置までスライドさせる。尚、耐火マットで貫通物を複数管巻付ける場合、谷間等の隙間には、必ず、隙間用スティックを設置すること。 4 貫通物、耐火マットあるいは耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。 5 小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。				

単位:mm



項目		仕様					
国土交通大臣認定番号		PS060FL-1200-2(1200-1, 1200)					
貫通する壁の構造等		RC・ALC床 厚さ100以上					
開口部	形状(開口サイズ)	矩形(角穴) 開口幅600以下					
	面積	0.75㎡以下					
占積率		35.0%以下					
防火部材	耐火ブロック	ロクマックスブロック					
	耐火マット、隙間用スティック	ロクマックスマット、ロクマックスマットスティック					
	耐火シート	ロクマックスシート					
	支持板	ロクマックスボード					
貫通物	空調	冷媒管(銅管)	保温材(20以下)	—	φ44.5以下	φ44.5以下	
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ54以下	φ54以下	
		アルミ冷媒管(JIS H 4080)	保温材(20以下)	—	φ38.1以下	φ38.1以下	
			鋼管	保温材なし	90A以下	—	—
				保温材(20以下)	—	32A以下	32A以下
		ステンレス鋼管	発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	40A以下 外径φ48.6以下	40A以下 外径φ48.6以下	
			保温材なし	90A以下	—	—	
			保温材(20以下)	—	32A以下	32A以下	
		VP・HIVP・HT管	発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ50.8以下	φ50.8以下	
			保温材なし	—	100A以下	—	
	保温材(6以下)		—	—	25A以下		
	保温材(20以下)		—	65A以下	—		
	電気	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)	1,600mm ² 以下				
			200mm ² を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付けケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け				
		合成樹脂製可とう電線管	PF・CD54以下 PF・CD22以下:貫通部に耐火ブロックのみ PF・CD54以下:貫通部に耐火ブロック+耐火シート1周以上巻き付け PF・CD54以下×複数管:貫通部に耐火マット巻き付け				
断熱ドレンホース		—					
ドレンホース		—					
衛生	VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—		
	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 9798)(RFVP)	—	—	100A以下	—		
施工方法		1 開口に鋼製スリーブを設置する。 2 スリーブに支持金具(Z金具、C金具)を設置し、貫通物の形状に合わせて加工した支持板を置く。(耐火ブロックを下面施工する場合は、スリーブ下面に支持金具を設置し、支持板を置く。) 3 貫通物に耐火マット又は耐火シートを巻き所定位置までスライドさせる。尚、耐火マットで貫通物を複数管巻付ける場合、谷間等の隙間には、必ず、隙間用スティックを設置すること。 4 貫通物、耐火マットあるいは耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。 5 小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。					